第2回辻堂まちづくり会議報告

(開催日時) 2019年(令和元年)5月23日(木) 13:30~15:40

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 15人

(欠席者) 9人

(傍聴者) 3人

(議題等) 別紙次第のとおり

◎ 頼りになる拠点施設の構築について

新たに、市民自治推進課の地域担当として、藤岡主幹・近藤補佐・本間主任が担当についた。

- 資料のとおり、市民自治部藤本部長から説明を行った。

(議事要旨)

発言者	内容等
藤本部長	現在、多様な地域課題が発生しており、市と市民と地域団体とが協力をしながら課題解決に向けていきたい。地域ごとの拠点機能をより高めていくために、市民自治推進課に各地域の担当を置き、センターと本庁との連携を強固なものにしていく。 また、本庁に地域課題解決に特化した、地域課題解決支援チームをつくり、今までには少なかった本庁職員と地域住民とが顔が見える関係を作り、地域との関係を深めていきたい。

(質疑応答要旨)

発言者	内容等
山田委員	今までもセンターを窓口として要望を出してきているが、今までと何が変わるのか。
藤本部長	基本的には現行の延長。今までのセンター機能を強化していきたいというイメージで行っている。今までセンター職員と住民間の関わりと、センター職員と本庁職員との関わりに分かれていたが、今後は本庁職員・センター職員・住民とそれぞれが一緒に関わりあえる組織にしていく。
山田委員	協力して地域課題を解決していくというが、市役所内で本庁職員とセンター職員が協力していくという意味合いが強く、市民目線で誰と協力していくのか。
藤本部長	今までは、センターを介して市民と本庁とでつながっていたが、今後は三者が顔を合わせてつながる関係になっていく。
小川委員	このまちづくり会議でも、今までも勉強会等で本庁職員との関わりがあるが、それでは足りないから今以上に行っていくという考え方と捉えているので、しっかり行っていただきたい。

	また、土木職員が各センターにいたが、それを引き上げたという経過がある。その上でまた本庁の地域担当を置くことは税金の無駄にならないか。
藤本部長	今回は土木職員の変わりというわけではなく、市役所との関係を強くする意味で配置している。また、職員についても、既存の人数の中で対応しているので、増員をしているわけではない。
関岡委員	センターや郷土づくり推進会議は市民自治推進課の下にある下部組織として考えているが、資料に書かれている地域社会・地域課題はトップダウンの課題として判断すべきなのか。
藤本部長	資料に書かれているものは地域背景として書かれている。そのため、トップダウンではなく、共に解決したいと考えている課題である。

◎ グループワーク

- 「辻堂プライド」の見直しと普及・啓発について

小川副会長班	風光明媚や景色は与えられたものなので「プライド」とは言わないのではないか。安全・安心・福祉等の充実に努め、みんなへと展開していくよう努力をしていくことで、地域全体で活躍出来るようになる。その結果として、自分達が行っていくことに対して「プライド」を持てるようになるのではないか。
吉田広報委員長班	住民がもっと辻堂に関わることを考えるべきなのではないか。そのために、自治会や子ども会に入ってもらうことで、地域のことを理解してもらう必要がある。そのような、人と人とのつながりを強めることで辻堂に愛着を持ってもらえるので、その方法等について考えるべきだ。
関岡副会長班	辻堂は現在若い人が多く移ってきている。若い人が憧れている町である。しかし、辻堂のどこに憧れているのかが分からないため、若い世代に対してアンケート等を取ることでより声を聞くべきではないか。
尾崎会長班	なぜ辻堂の良いところばかりを見るのか。マイナスの部分にも目を向けるべきなのに、「辻堂プライド」という言葉の性質上、マイナス部分を声に出しにくい。 「辻堂プライド」の言葉自体をもう少し会議内で議論をすべきだ。

◎ 前回会議の議事録の確認について

- 議事録を確認し、報告と代えさせていただいた。

(質疑応答)

発言者	内容
山田委員	交流部会の「市民の家の実態調査」とはどのような調査を行うのか。
関岡委員	現在、市民の家は高齢者の集まる場所という実態があるが、その機能を果たしているのかを改めて確認するという調査である。

3 その他

(1) 市政報告会について

資料のとおり内容を確認した。また、くらし安心・安全部会については、次回部会で改めて確認することとなった。

(質疑応答)

発言者	内容
吉田（秀）委員	オリンピック・パラリンピックについて、回覧物で事業への助成金に関するチラシがあったが、このまちづくり会議の事業についても対象になるのか。
事務局	事務局にも情報がないので、確認して回答します。

(2) 津波避難体験

体験のお手伝い、協力をお願いしたい。湘南メディカルビルの外階段から体験してもらう。9：45 ゴミゼロが終わったら誘導して、10：00 頃から順次上に上がってもらう。10：20～30 に終了予定。

<お願い>

尾崎委員：昨年は移動時に地元少年サッカー部と一緒に危険だったので、もし調整が可能ならばお願いしたい。

(3) グリーン回廊ウォーキング

資料の通り具体的内容の説明を行った。また、吉田広報委員長から、QR コードシールを半分貼ったとの報告があった。

(4) マップ作成依頼

辻堂小学校から、4年生を対象とした地区の危険箇所マップ作成を手伝ってほしいという依頼があった。

学校からの依頼だと、防犯だけでなく、防災や交通等様々な視点から危険な箇所を探していきたいと言われているため、防犯協議会・防災協議会・交通安全協議会に声をかけているが、当会議にも手伝っていただきたい。

参加可能者

6月25日 小川委員・横川委員・鷹野委員・吉田(秀)委員・関岡委員・高橋委員・石井委員

6月26日 石井委員・尾崎会長・斎間委員・小川委員・鷹野委員・高橋委員・関岡委員

6月28日 石井委員・尾崎会長・斎間委員・小川委員・近藤委員・鷹野委員・横川委員・高橋委員

(5) 辻堂歴史物語

5月25日（土）に行われるが、椅子を並べる・資料の配布等を手伝っていただけるとあり

がたい。

(質疑応答)

発言者	内容
吉田(紀)委員	ホールの定員100人を大幅に超える可能性があるが、大丈夫なのか。
事務局	ホールの定員100人は椅子・机の数で決めているので、100人を超えても問題ない。

(6) みんなで美化キャンペーン

事務局から資料のとおり説明を行った。

日程が次のとおり決定した。

辻堂自歩道：6月13日(木) 13:15～

高浜中学校から40人ほど参加

参加委員：関岡委員、高橋委員、吉田(紀)委員、吉田(秀)委員、近藤委員、山田委員

ポケットパーク：6月22日(土) 9:00～

湘南工科大学附属高校から10人ほど参加

参加委員：関岡委員、近藤委員、斎間委員、山田委員、吉田(紀)委員

(質疑応答)

発言者	内容
山田委員	自歩道やポケットパークは毎年業者が除草作業をしているが、被らないのか。
事務局	本庁と連絡を取り、業者はキャンペーンのやり残りを後日除草してもらうことで確認が取れている。

(7) 「辻堂プライド」自歩道の名称募集について

関岡委員から資料のとおり説明を行った。6月の三者連携推進会議(ネットワーク湘南堂夢・高浜地域子ども支援会議)にて各小・中学校へ募集依頼を行う予定。

(8) 飛び出せ辻堂インタビュー(6月)について

5月は伊藤委員・木幡委員・若山が東海岸1丁目町内会 湘平会 明和会の3自治会にインタビューを行った。

6月は白井委員・鷹野委員がインタビューを行う。

松園自治会

(9) 子ども回覧板事業

吉田広報委員長から資料のとおり説明を行なわれた。

(質疑応答)

発言者	内容
横川委員	この事業について、外へ周知していても良いか。(市外の知り合いから、

	とても良い事業なので詳細を教えてくださいとお話があった。)
吉田(秀)委員	是非周知していただきたい。

◎今後の予定

- 下記のとおり、全体会議・部会等を開催すること決定した。

会議名：第3回辻堂まちづくり会議 全体会議

日 時：6月27日（木）午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター 第1 談話室

議 題：各部会からの報告 等

※ 市政報告会 同日・同場所

午後3時30分頃～午後4時30分頃

会議名：辻堂交流部会

日 時：6月6日（木）午後2時～午後4時頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

会議名：くらし安心・安全部会

日 時：6月6日（木）午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

会議名：広報委員会

日 時：6月13日（木）午前9時30分～午前11時30分頃

場 所：辻堂市民センター

議 題：事業の検討 等

以上